



2021年2月吉日

お客様各位

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社

ウイルス不活化試薬『Prep Buffer A』発売のご案内

拝啓

時下ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の不活化を目的としたPCR前処理試薬『Prep Buffer A』を販売することとなりました。

今後とも弊社製品につきまして、引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

【本製品の特長】

Prep Buffer Aは、弊社が販売中の「ジーンリード エイト」、「エリート インジニアス」、「magLEAD 6gC」「magLEAD 12gC」に対応した、専用のウイルス不活化Bufferとなります。本製品ではウイルス感染力価を低減し、様々なサンプル種（鼻咽頭ぬぐい液、唾液、喀痰など）を安全にPCRへ供与することができます。これにより医療従事者の感染リスクを大幅に低減し、検査室内の安全を確保することが可能です。

【ご注意事項】

※本製品は研究用試薬です。また、「ジーンリードシリーズ」、「マグリードシリーズ」の専用試薬になります。

※本製品を使用することで完全なウイルス不活化を保証するものではありません。

※本製品を使用する際は必ず安全キャビネット内でご使用下さい。

■ 製品概要

製品名：Prep Buffer A

製品コード：E1400

内容量：125 mL（約1,200回分：使用する検体量によって異なります）

保管温度：10～30℃

使用目的：核酸抽出試薬（MagDEA Dx）の前処理、検体中の新型コロナウイルスの不活化

使用方法：検体量に対して1/3量を添加し、混和後室温で5分間静置してください。

（完全な不活化を保証するものではありません）

■ 販売開始時期

2021年2月1日

■ 製品写真



本品及び滅菌精製水（対照）をそれぞれ新型コロナウイルス液に対し 1/3 量を添加し室温 5 分静置後、不活化能を評価した結果、精製水でウイルス力価 5.6×10^6 TCID₅₀/ml が観察されたのに対し、本品で 99%以上のウイルス不活化が確認されました。

※本試験は臨床検体を用いたものではありません。

※TCID₅₀ : Tissue Culture Infectious Dose 50 の略、50%細胞変性効果が観察できるウイルス量

■ お問い合わせ先

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社

学術部 マーケティング課

営業 2 部 国内販売課

TEL : 047-303-4800 (受付時間 9 : 00~17 : 00)

Mail : service@pss.co.jp ウェブサイト : <http://www.pss.co.jp>

以上